

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2年Aクラス	障害児心理学研究	鈴木 由美	
サブタイトル	気になる子どもの心に寄り添う	単 位 数	2
授業形態	講義	出席要件	4 / 5以上
開講時期	前期		
到 達 目 標			
<p>(1) 目標 障害に関する専門的な知識を習得し、障害のある子どもの発達や行動特性を理解する。</p> <p>(2) 到達目標 子ども一人ひとりにあった関わり方・支援方法を考えられる 保護者や他の職員と協力しながら支援できる 保育者として、子どもの成長を暖かく支える態度を身につけることができる</p>			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>1. ディプロマポリシーとの関連：専門学校のディプロマポリシー「保育に関する基礎的な知識や保育技術を修得し、保育の場で応用して発揮することができる」に関連する。〈学びで得られる成果〉専門分野に関する知識・技術を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を解決することができる。</p> <p>2. カリキュラムマップの位置づけ：保育者としての得意分野を広げる専門領域、「特別支援領域」の学びに関連する。</p>			
授 業 の 方 法			
講義を中心に、事例検討・グループディスカッション・演習を組み合わせを行い、体験を通して学ぶ。学生が自ら考え、子どもの気持ちを理解し、保育現場で活かせる支援を学ぶことを重視する。			
テキスト・教材・参考図書			
<p>テキスト： 特にしらない</p> <p>参考書： 図解よくわかる発達障害の子どもたち 榎原 洋一著 ナツメ社 2011年</p>			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
<p>授業参加と試験によって総合的に評価をする。</p> <p>授業参加では、学習意欲・グループ内での積極的な発言、リアクションペーパーの提出状況を評価する。</p> <p>試験では、授業を通して学んだ、障害のある子どもの心理・発達特性・支援の基本について理解を問う</p>		<p>授業参加 40%</p> <p>期末試験 60%</p>	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
臨床心理士・公認心理士として、気になる子どもの支援してきた経験を生かして。授業では具体的な事例を通して、障害児心理を学びます。			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス	授業の目的を理解し共に育つ保育を知る
2回	子どもの発達を学び、個人差を理解する	発達の流れをつかみ、個人差を受け入れる
3回	知的の発達について課題のある子どもの理解	ゆっくり育つ子どもの関り方を学ぶ
4回	自閉症スペクトラム症（ASD）の子どもの理解	感覚の違いを理解し、環境づくりを考える
5回	注意欠如・多動性（ADHD）の子どもの理解	落ち着かない子どもの支援を考える
6回	学習障害（LD）の子どもの理解	苦手さの背景を学び、できることを伸ばす
7回	発達障害のある子どもとの遊びを学ぶ	遊びや生活の中で発達を考える
8回	子どもの観察・記録・支援計画の立て方	記録を通して、支援方法を考える
9回	心の成長と情緒の発達理解	子どもの気持ちに寄り添える支援を考える
10回	保護者との関わり・家庭との連携	家庭の思いを受け止め支援方法を考える
11回	チーム支援での支援の方法	保育者同士が協力して支援する姿勢を学ぶ
12回	事例から学んでみよう	実際の保育でも場面から支援の工夫を考える
13回	共に育つとは	共生保育・インクルーシブ保育の理解
14回	自分の支援をまとめてみよう	支援のアイデアを共有する
試験	授業を通して学んだ、障害のある子どもの心理・発達特性・支援の基本について理解を問う	